

町政をたぐす



今 勝吉 議員

問 学校のICT環境整備 (GIGAスクール構想) について

答 整備率は100パーセント。令和3年度から教員のICT指導力向上のための研修を実施する。

①令和3年3月末までに、管内小中学校の児童生徒分348台、教職員分71台、合計419台のタブレット端末を1人1台整備することから、整備率は100パーセントとなる。
②まずは、教員がタブレット端末に慣れる必要があるため令和3年度から基本的な操作研修を実施する。また、西北教育事務所及び青森県総合学習センターの研修等を活用しながら教員のICTを活用し

問 今議員
①県教育委員会から公立小中学校で、本年度中に1人1台のパソコン・タブレット端末が整備される見込みと報告されたが、当町での令和3年3月時点の教育用コンピュータの整備率を伺う。
②当町の教員スキル向上などのフォローアップ計画（ICT活用指導に関する教員の研修）はどのようになっているのか伺う。

▼てんぐ巣病にかかった枝



問 町長
八森山町民の森公園の「桜」は、細菌が原因と思われる「てんぐ巣病」にかかっていると考えられている。平成24年には、駆除業務を委託して、その後も枝打ちと薬剤塗布を行うなどの対策をしたが、改善に至っていない。

問 今議員
八森山を背に樹木「桜」は、春に今も昔もたくさん花をつけるが、病害虫の繁殖が目立つので予防管理（剪定）について伺う。

「八森山町民の森公園」管理について



▲てんぐ巣病にかかった桜を伐採している様子

問 今議員
八森山を背に樹木「桜」は、春に今も昔もたくさん花をつけるが、病害虫の繁殖が目立つので予防管理（剪定）について伺う。
答 専門家によると、効果的な防除方法がなく、こまめに病巣部を切除するしか対策がないと指導を受けている。特に道路脇の桜は、樹木全体に病原菌が広がっており、放置すると健全な樹木にも悪影響を及ぼすとの指摘も受けている。平成30年度以降、八森山ハイツ周辺の桜から試験的に伐採作業を行っており、今後とも状況を見ながら計画的に伐採撤去を進めたいと考えている。

町政をただす



▲満開に咲いた八森山町民の森公園の桜



▲花数が極めて少ない町道沿いの桜（八森山ハイツ下）

深浦地区定住促進住宅民間事業者整備管理事業について

問 今議員

町では、深浦地区定住促進住宅を整備するため、所有する物件を改修し管理・運営をする民間事業者を公募型プロポーザルにて募集したが、その結果と今後の取組について伺う。

答 町長

受付期間内に1件の応募があり、現在、その候補者と改修すべき箇所や工事費用、その後の維持管理計画など、詳細な協議をしている。その後審査委員会で審議し、適正であると判断されれば、令和3年度の早い時期に事業実施ができるよう努める。



▶公募の対象となった物件は、昭和54年に大字深浦字座野の通称「ひらふ団地」に建設された、旧深浦高校教員住宅

生活困窮者対策及び生活保護対応について

問 今議員

①新型コロナウイルス感染拡大に関連する解雇や雇止めが増えている中で、非正規労働者が打撃を受けているため、個人向け支援策（①緊急小口資金貸付、②総合支援金、③住居確保給付金、④休業支援金）についての相談件数を伺う。

②コロナ関連による雇用情勢の悪化に伴い、生活困窮者による生活保護申請の実態は。また、当町の窓口はどう対応しているのかについて伺う。

答 町長

①緊急小口資金と総合支援資金の相談窓口が共に町社会福祉協議会となっており、緊急小口資金の相談は7件、総合支援資金は、現在のところ相談はないと伺っている。

町政をたず

DV・児童虐待・高齢者虐待について

問 今議員

全国的にコロナ禍による生活不安や外出自粛で、子供の目前で夫婦ゲンカする前面DVや児童虐待・高齢者虐待が多くなっている中、当町における本年度の相談件数と、どう対応していくのか伺う。

答 町長

DVに関しては、ほとんどの方が警察に相談・通報していると思われるので、町への相談はない。

高齢者虐待については、今年度2件の相談があり、そのうち訪問対応で虐待と認定したものは1件あった。

高齢者虐待の相談があった際は、早急に訪問等で事実確認を行い、緊急性が高い場合は、措置入所を行うなど当事者を分離するための対応を行っている。次に、児童虐待については、今年度5件の相談があり、そのうち3件が前年

また、住居確保給付金についても、現在のところ相談はなく、休業支援金・給付金は「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金（カーセントー）」が問合せ先となっており、各都道府県労働局で集中処理していることから、当町における相談件数は把握できないが、厚生労働省のホームページによると、2月11日時点の全国の支給実績は、申請件数112万6千999件、決定件数91万6千433件、支給決定額724億8千838万円となっている。

②令和2年度（令和3年2月1日現在）の生活保護申請は16件、生活保護受給者は、令和3年1月1日現在で96世帯の118人です。当町の窓口対応に関しては、相談があった場合に現在の収入や生活状況及び持病のあるなし等を聞き取りし、申請先の県福祉事務所に情報提供し、ケースワーカーが保護の開始又は却下を判断することとなっている。

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 今議員

高齢者の接種について、早ければ4月1日以降になる意向だが、当町は集団接種を行う医師や看護師、会場の確保など、体制準備をどのように進めているのか伺う。

答 町長

高齢者への接種が開始されるのは、早くとも4月下旬以降になる見込みだが、国のワクチン確保の状況次第では、接種の開始時期が遅れる可能性もある。また、不確定なワクチンの供給にも対応できるように、健康推進課内に「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、深浦診療所の協力の下、町内3か所に集団接種会場を設け、高齢者の接種会場までの移動を考慮しながら実施する予定である。



度から継続している。ただし、実際に虐待が発生し緊急対応した事例はなく、虐待予防の観点から、リスクが高いケースに対しては、早期に介入し支援するよう努めている。

対応としては、全妊婦、全乳児に対して保健師が訪問し、早い段階で虐待のリスクを把握し、継続支援につなげている。また、要保護児童対策協議会の代表者会議や実務者会議等、関係機関と連携を図り情報を共有し、適切な支援につなぐことができる体制強化を図っている。